

人気殺到、欧州で先行販売していた
形状保持素材『テクノビンテージB J』
いよいよ国内販売開始について

小松精練株式会社（本社：石川県能美市 社長：中山賢一）は、世界に冠たるファブリックメーカーを目指し、驚きと感動ある素材の開発を進め、05年12月に形状保持性が極めて高く感性豊かな素材が完成しました。この形状保持性の高い素材を06年より欧州限定で販売を進めてまいりましたが、このほど08年1月より来秋冬用素材として『テクノビンテージB J』のブランドでいよいよ国内本格販売を開始いたします。

■ 『テクノビンテージB J』の開発経緯について

小松精練は、03年2月に世界最高峰のテキスタイル見本市『ブルミエール・ヴィジョン（以下P. V.）』に初出展以来、欧州のトップメゾンに対して新鮮で驚きを与えるファブリックを提案しつづけて参りました。特に形状保持性の高い素材開発を当社に求められ、当要求に対してP. V. 出展当初はアルミ箔をボンディングした素材を提案していましたが、天然素材が好まれる欧州においては、鉋物を使用したファブリックは敬遠され、鉋物を使用せずに形状保持性の高い素材提案が求められていました。

当社は、小松精練のひいては日本の知恵を結集させた、欧州には存在しない斬新な合繊素材の開発を行い、設備の改良と使用する薬剤の開発を重ね、05年12月に鉋物不使用でありながらナイロン、ポリエステル、及びそれら交織素材で形状保持性が極めて高いファブリックを完成しました。日本の知恵（頭脳）を結集させたという誇りを込めて『B J』（the BRAIN of JAPANの頭文字から）という呼称で、06年2月にP. V. にデビューしました。

覆面ブランドでありながら"小松のshape memory fabric"と呼ばれ爆発的な人気を集め、欧州のトップメゾンからの引き合いが殺到し、06年度（4-3）にはおよそ30万メートルを販売しました。今07年度も欧州からの引き合いが継続拡大し、供給能力が不足する状態に陥り、今上期（4-9）においては、生産能力限界の40万メートルの販売に留まりました。

『テクノビンテージB J』は、海外からのリピートを含め好調な引き合いが継続し、日本国内からの引き合いに対して供給不能な状態となり、設備増強を急がれておりました。その要求に応えるべき設備がいよいよ整い、08年1月より『テクノビンテージ B J』のブランドで日本国内に向けて販売を開始いたします。

■ 『テクノビンテージB J』の商品特長

- 1) 高い形状保持性があります。
- 2) ハリコシがあり、ナチュラルな表面感をもつ新質感素材です。
- 3) 展開素材はポリエステル、ナイロン及びポリエステル・ナイロンの交織や天然素材混の織・編物素材があります。
- 4) バリエーションには製品染め専用の「テクノビンテージB J晒し」が開発されており、製品染めを行うとよりナチュラルな表面感と独特の味わいが表現できます。
- 5) プリントとの併用も可能であり、プリント後も「テクノビンテージB J」の特長を損なうことはありません。

■ 『テクノビンテージB J』の用途展開

- ・ファッション衣料
- ・スポーツ・カジュアル衣料
- ・鞆関連

■ 『テクノビンテージB J』の価格について（アパレル入り）

- ・無地染め・・・1400～1800/m
- ・晒し・・・1200～1600/m（製品染めやプリント対応）

■ 『テクノビンテージB J』の販売制作

- ・ 自社販売
- ・ ブランド：テクノビンテージB J

■ 『テクノビンテージB J』の販売計画

- ・ 07年度（4-3） 100万m（国内20万m、海外80万m）
- ・ 08年度（4-3） 150万m（国内50万m、海外100万m）

BACK